

第Ⅱ部

小牧市観光重点プラン

第1章	観光重点プラン策定の意義と必要性……	48
第2章	地域資源の分析……	49
第3章	重点的に取り組むキーワード……	52
第4章	計画期間内における観光振興のテーマ…	54
第5章	観光推進施策と展開方法……	55

第Ⅱ部 小牧市観光重点プラン

第1章 観光重点プラン策定の意義と必要性

第Ⅰ部「小牧市観光振興基本計画」では、本市における観光振興のあり方や方向性について明らかにし、その考え方を行政だけでなく関係者とも連携した観光振興を進めることによって市民の愛着・誇りの醸成と地域産業への貢献を持続的に実現することを目指すこととしている。

観光振興基本計画の推進に向けては、本市に点在する地域資源を、総括的に活用する施策の展開が望まれる。しかしながら、本市の観光振興における課題に取り組み、観光ニーズに応じた観光振興を進めていくには、戦略的な視点で効果的・効率的に推進していく必要がある。このため本市の観光ポテンシャルを把握・分析するとともに、観光関連施設の建設など本市を取りまく外的環境と連動した重点的に取り組むべき施策を「小牧市観光重点プラン」として取りまとめるものである。



第1章
計画策定の趣旨

第2章
観光に関する
社会的変化

第3章
小牧市の観光の現状

第4章
小牧市を目指す観光

第5章
計画の推進に向けて

第1章
観光重点プランの
意義と必要性

第2章
地域資源の
分析

第3章
重点的に取り組む
キーワード

第4章
計画期間内における
観光振興のテーマ

第5章
観光推進施策と
展開方法

参考資料

第2章 地域資源の分析

(1) 地域資源の評価

小牧市観光振興基本計画 第3章(1) 小牧市の地域資源一覧に示したように、本市にはさまざまな地域資源が数多く存在する。これらの地域資源を、公益財団法人日本交通公社が出典している「観光資源台帳(2003年3月)」に沿って評価すると、現状において小牧山と名古屋コーチンは観光資源として評価されるものの、それらを除いたすべての資源がCまたはDランクとなる。

このような地域資源の評価を踏まえた上で、本市の観光振興を進めるためには、観光資源として既に評価されているポテンシャルの高い資源をまずは重点的かつ優先的に磨き上げ、他の地域資源へ波及させ、本市の観光全体を牽引し底上げを図ることが重要である。

＜観光資源分類と評価基準＞

資源分類		評価		
自然資源	人文資源	ランク	基準・内容	代表資源名
山岳 高原 原野 湿原 湖沼 峡谷 滝 河川 海岸 岬 島 岩石・洞窟 動物 植物 資源現象	史跡 社寺 城跡・城郭 庭園・公園 歴史景観 地域景観 年中行事 建造物 動植物園・水族館 博物館・美術館	特A級	わが国を代表する資源で、かつ世界にも誇示しうるもの。わが国のイメージ構成の基調となりうるもの。	富士山 摩周湖 法隆寺 姫路城 祇園祭
		A級	特A級に準じ、その誘致力は全国的で、観光重点地域の原動力として重要な役割をもつもの。	芦ノ湖 天橋立 清水寺 高山の街並み
		B級	地方スケールの誘致力をもち、地方のイメージ構成の基調となりうるもの。	筑波山 浜名湖 高山の朝市
		C級	主として、県民および周辺地域住民の観光利用に供するもの	身延山 石神井池 広島城跡
		D級	地域住民の利用	

出典：観光資源台帳 2003年3月 公益財団法人日本交通公社

第Ⅱ部 小牧市観光重点プラン

<資源別評価一覧(愛知県)>

分類	ランク	資源名	所在地
海岸	B	恋路ヶ浜	田原市
岬	B	伊良湖岬	田原市
岩石・洞窟 岩石・洞窟	B B	馬ノ背岩 日出の石門	新城市 田原市
動物	B	鷗の山鷗繁殖池	美浜町
植物 植物 植物	B B B	香嵐渓の紅葉 御油の松並木 八百富神社社叢	豊田市 豊川市 蒲郡市
史跡 史跡	B B	瓜郷遺跡 北野廃寺跡	豊橋市 岡崎市
社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺 社寺	A B B B B B B B B B B B B	熱田神宮 鳳来寺 東照宮 豊川稲荷 宝生院 大御堂寺 定光寺 津島神社 滝山東照宮 涌山寺 伊賀八幡宮 甚目寺 大樹寺 尾張大國霊神社	名古屋市 新城市 新城市 豊川市 名古屋市 美浜町 瀬戸市 津島市 岡崎市 岡崎市 岡崎市 岡崎市 甚目寺町 岡崎市 稲沢市
城跡・城郭 城跡・城郭 城跡・城郭	A B B	名古屋城 犬山城 岡崎城	名古屋市 犬山市 岡崎市
庭園・公園	B	名古屋城二ノ丸公園	名古屋市
年中行事 年中行事 年中行事 年中行事	B B B B	津島祭り 名古屋祭り 大國神社の裸まつり(国府宮裸祭り) 大提灯祭り(諏訪神社)	津島市 名古屋市 稲沢市 一色町
建造物	A	明治村	犬山市
博物館・美術館	B	徳川美術館	名古屋市

資料：観光資源台帳 2003年3月 公益財団法人日本交通公社

<小牧市の観光資源と評価>

	自然資源										人文資源														
	山岳	高原・湿原・原野	湖沼	河川・峡谷	滝	海岸・岬	岩石・洞窟	動物	植物	自然現象	史跡	神社・寺院・教会	城跡・城郭・宮殿	集落・街	郷土景観	庭園・公園	建造物	年中行事	動植物園・水族館	博物館・美術館	テーマ公園 テーマ施設	温泉	食	芸能・興行・ イベント	
特A	富士山	尾瀬ヶ原	十和田湖	黒部峡谷		慶良間諸島の 海岸			日光杉並木		天皇陵	伊勢神宮	姫路城	白川郷合掌造り 集落	小笠原の見送り	修学院離宮庭園		式年遷宮		民俗博物館	国立歴史 リソート	東京ディズニー	草津温泉	江戸前の寿司	大相撲・国技館
A					称名滝		玉泉洞	立山の ライチョウ		富山湾の盛気楼		熱田神宮	名古屋城				明治村		上野動物園						
													犬山城										名古屋コーチン		
B											小牧山 (国指定史跡)		小牧山城												

*小牧市の資源評価について、日本観光振興協会が専門的見地に基づいて評価を行った。

(2) 今後5年以内の観光関連施設等の建設・オープン予定

平成30年には、小牧山の歴史的価値や魅力を発信する「(仮称)史跡センター」の開設が予定されており、観光推進施策の迅速な展開が求められている。

前後して平成29年には、本市に隣接する豊山町で「MRJ 機体組立工場見学コース」、同年度内に県営名古屋空港で「見学者受入拠点施設」の開設が予定されている。これらの施設は全国レベルでの知名度や来訪者が呼び込める観光資源となることが予想され、こうした外的環境の変化を小牧市の観光振興にうまく連動させた効果的な施策の展開が求められる。

<観光関連施設等の建設・オープン一覧(予定を含む)>

	オープン時期	建設場所	概 要
(仮称) 史跡センター	平成30年春	史跡小牧山地内 (堀の内体育施設周辺)	小牧山城の発掘調査によって得られた成果を、出土遺物や映像・石垣の実物大模型等で紹介し、体験や学習、研究や情報発信の拠点とすることで、歴史的遺産である小牧山を広く周知する ◆基本理念 ・小牧山の史跡としての価値を高め、より理解を深めるための情報を発信する拠点 ・市のシンボルである小牧山を中心に育まれてきた歴史や文化、残された貴重な自然をととした交流拠点 ◆導入機能 機能1：展示機能 機能2：交流・学習機能 機能3：調査・研究機能 機能4：情報発信機能
MRJ 機体組立工場 見学コース	平成29年春	三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場(豊山町) 【県営名古屋空港隣接地】	通常は立ち入ることのできない航空機生産整備工場の現場を訪れ、国産初のジェット旅客機 MRJ の組立を間近で見学する
県営名古屋空港 見学者受入拠点施設	平成29年度 (第3四半期)	県営名古屋空港内	◆コンセプト ・航空機産業の情報発信 ・航空機産業をベースとした産業観光の強化 ・次代の航空機産業を担う人材育成の推進 ◆他施設との連携 1 実施予定プログラム ・見学ツアー (MRJ 量産工場)・バックグラウンド・ツアー (県営名古屋空港施設)・MHI 史料室探訪ツアー (三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所史料室)・JAXA 探訪ツアー (JAXA 名古屋空港飛行研究拠点)・航空館 boon で遊ぼうツアー (航空館 boon)・自衛隊基地見学ツアー (航空自衛隊小牧基地)・航空機撮影スポット・ツアー (エアフロントオアシス、ターミナルビル展望デッキなど) 2 小牧市及び近郊の連携可能な関連施設 ・神明公園(豊山町)・エアフロントオアシス(小牧市・小針公園、春日井市)・航空自衛隊小牧基地(小牧市)・JAXA 名古屋空港飛行研究拠点(豊山町・県営名古屋空港隣接地) ◆年間来場者目標数 年間約35万人(オープン当初は65万人程度)

第Ⅱ部 小牧市観光重点プラン

■第3章■ 重点的に取り組むキーワード

小牧市にはさまざまな地域資源が存在することは前述のとおりであるが、本市の観光振興を戦略的に進めるためには、まずは本市の“強み”となるいくつかの資源をキーワードとして絞り込み、そのキーワードを核として施策展開を図ることが効果的であると考え。さまざまな地域資源はこれらの絞り込んだ“強み”となるキーワードとつなげて展開させることにより、その価値を高め、結果的に地域資源の底上げが図られる。つまり、キーワードが持つポテンシャルによって、さまざまな地域資源を輝かせるという相乗効果を狙う。

よって、本プランでは計画を推進するための核となるキーワードを以下の3つに絞り、これらのキーワードから本市における観光推進施策のあり方や方向性を導き出し、さまざまな地域資源に波及させていくこととする。

(1) キーワード1：「小牧山」

小牧山は、織田信長が天下統一を夢見て自ら初めて城を築き、その南麓に城下町を整備し4年を過ごした地である。この史実は近世城郭のルーツを塗り替える発見といわれている。また、徳川家康と羽柴（豊臣）秀吉がただ一度直接対峙した小牧・長久手の戦い¹において、小牧山に家康が陣を置いた地としても広く知られており、本市のシンボルとして、市民が最も愛着と誇りを持つ資源といえる。



平成25年の織田信長公小牧山城築城450年記念事業の実施を契機に、観光の視点から活用され始めたところであるが、小牧山の歴史的価値や魅力の発信の拠点として史跡小牧山地区内に建設される（仮称）史跡センターの完成により、市民の交流の場として、また観光拠点としてのさらなる活用が見込まれる。

(2) キーワード2：「名古屋コーチン」

名古屋コーチンは、旧尾張藩の武士であった海部兄弟が血のにじむような努力により創りだした国産実用鶏である。一時は絶滅しかけたが、地鶏ブームもあり、かしの王様として全国的に知名度は高く、小牧市地域ブランド調査においても市民が小牧市の連想イメージの中心に

¹ 小牧・長久手の戦い：天正12年（1584年）に、羽柴秀吉（1586年、豊臣賜姓）陣営と織田信雄・徳川家康陣営の間で行われた戦い。

置いている。

ただし、小牧市が発祥の地ではあるものの、本市が持つ資源として市外の認識は低いため、名古屋コーチンが生みだされた歴史を知ってもらい、本市の資源であることをPRしながら、その活用方法についてさまざまな可能性を検討し進めていかなければならない。

(3) キーワード3：「航空宇宙産業」

かつては小牧空港とも呼ばれていた県営名古屋空港は、小牧市地域ブランド調査において、小牧市民以外の4市で小牧市についての連想イメージでほぼ中心に位置し、航空自衛隊についても同様の結果となっている。さらに三菱重工業をはじめとする市内の航空宇宙関連産業とも連動し、小牧市は他市から航空宇宙産業に関連するまちというイメージを持たれているといえる。また「MRJ」²機体組立工場見学コース」と「県営名古屋空港見学者受入拠点施設」（ともに豊山町）の開設が追い風となり、本市と航空宇宙産業のイメージはさらに強化されるものと推測される。そこでこの環境の変化を好機として捉え、キーワードとして観光振興に活用する。



第1章
計画策定の趣旨

第2章
観光に関する
社会的変化

第3章
小牧市の観光の現状

第4章
小牧市を目指す観光

第5章
計画の推進に向けて

第1章
観光重点プランの
意義と必要性

第2章
地域資源の
分析

第3章
重点的に取り組む
キーワード

第4章
計画期間内における
観光振興のテーマ

第5章
観光推進施策と
展開方法

参考資料

² MRJ:三菱リージョナルジェット(英: Mitsubishi Regional Jet) のことで、三菱航空機を筆頭に開発・製造が進められている小型旅客機。

■第4章■ 計画期間内における観光振興のテーマ

キーワードに設定した小牧山は、織田信長が天下統一の夢を描き、そのチャレンジの第一歩として初めて城を築いた地であり、小牧市がブランドコンセプトに掲げる「夢・チャレンジ」の象徴として相応しい地である。

小牧市は、「小牧山を見つめ、これからの未来を担うこどもたちが、夢を描き、挑戦していただける地となるよう、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援する。そのことが、世代を超えた市民のつながりを生み、全ての市民が支え合っているまちづくりになる」という願いを込め、小牧山をブランドコンセプトの柱としている。

残りのキーワードの名古屋コーチンと航空宇宙産業もまた、チャレンジの繰り返しによって作出された名古屋コーチン、夢に向かってチャレンジを続ける航空宇宙産業と、小牧山と同一のイメージによってつなぐことができる。

本市の観光振興の展開ストーリーをイメージとして共有するため、テーマを下記のとおり設定する。

“夢・チャレンジ” 始まる観光

このテーマは、小牧の「過去から現在、そして未来へと伝えていきたいもの、小牧の地で紡がれた夢と、それに向けた革新的なチャレンジ」を一つのストーリーとして展開し、観光に携わるあらゆる関係者の共通の認識とする。

小牧という土地が持つ歴史的な意味の「チャレンジが始まった地」という意味と、本市の観光振興がまさに「これから始まる」という二つの意味合いを含むテーマである。

第5章 観光推進施策と展開方法

(1) 観光推進施策と各主体の役割

前述のとおり、本市の強みとなっている3つのキーワードについて重点的に施策を展開する。なお、各施策は観光振興基本計画で示した4つの基本施策を踏まえ展開するものとする。

以下、各キーワードごとの観光推進施策と各主体の役割について示す^{*}とともに、計画策定後に先行して取り組むべき施策について、スタートアップ事業として設定する。

【4つの基本施策】

育てる・・・人材の発掘・育成

磨く・・・資源の魅力づくり(環境整備等)

つなぐ・・・人・組織・事業・資源の連携

伝える・・・訴求するマーケットに対する効果的なプロモーション

キーワード1：「小牧山」

a (仮称) 史跡センターの開設に向けた史跡ガイダンスの充実等

スタートアップ
事業

例) ・レベルに応じたガイダンスのプログラム構築

育てる・**磨く**・**つなぐ**・**伝える**

・ボランティアガイドの育成

＜観光推進施策に対する各主体の役割＞

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
(仮称) 史跡センターの開設に向けた史跡ガイダンスの充実等	育てる	○	◎			○
	磨く	◎	○			○
	つなぐ	○	◎			○
	伝える	○	◎			○

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

^{*} 関係主体は事業の具体化に伴い、柔軟に対応する。

第1章
計画策定の趣旨

第2章
観光に関する
社会的変化

第3章
小牧市の観光の現状

第4章
小牧市の目指す観光

第5章
計画の推進に向けて

第1章
観光重点プランの
意義と必要性

第2章
地域資源の
分析

第3章
重点的に取り組む
キーワード

第4章
計画期間内における
観光振興のテーマ

第5章
観光推進施策と
展開方法

参考資料

第Ⅱ部 小牧市観光重点プラン

スタートアップ
事業

Ⅱ-1 小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等

磨く・つなぐ・伝える

例) ・小牧山を活用した様々なイベントの企画・実施

・四季折々のガイドプログラムの作成(野外体験やトレッキング、自然体験などユニークなイベントの企画・実施)

＜観光推進施策に対する各主体の役割＞

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
小牧山の歴史やロケーションを活用したイベントの開催等	磨く	○	◎	○	○	○
	つなぐ	○	◎	○	○	○
	伝える	○	◎	○	○	○

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

スタートアップ
事業

Ⅱ-2 ツアーの商品開発とプロモーション等

磨く・つなぐ・伝える

例) ・市内の地域資源をつないで旅行会社と連携したツアーの造成

・中部圏を中心としたプロモーションの展開

・モニターツアー実施による実際の旅行商品価値の検証

・(仮称) 史跡センターをはじめとする小牧山の魅力を盛り込んだツアーの造成およびプロモーション

＜観光推進施策に対する各主体の役割＞

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
ツアーの商品開発とプロモーション等	磨く	○	◎		○	
	つなぐ	○	◎		○	
	伝える	○	◎		○	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

d (仮称) 史跡センターを軸とした観光スポットとしての必要な機能整備等 磨く・つなぐ・伝える

- 例) ・小牧山の歴史的価値や魅力を発信する(仮称) 史跡センターの建設
 ・小牧山を訪れる来訪者向けの大型バス等の駐車場の充実
 ・土産物店等観光拠点としての機能整備の検討

<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
(仮称) 史跡センターを軸とした観光スポットとしての必要な機能整備等	磨く	◎	○			
	つなぐ	○	○	◎	○	
	伝える	○	◎	○	○	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

e 小牧山周辺の街並み整備等 育てる・磨く・つなぐ・伝える

- 例) ・小牧駅から小牧山への地域資源の活用等による導線の充実
 ・商店街等と連携した街並み整備の検討
 ・観光地としての雰囲気創出



<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
小牧山周辺の街並み整備等	育てる	○		○	◎	
	磨く	◎	○	○		
	つなぐ	○	○	◎		
	伝える	○	◎	○		

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

第Ⅱ部 小牧市観光重点プラン

スタートアップ
事業

f 広域連携によるコース造成等

磨く・つなぐ・伝える

例)・犬山城や岐阜城など、城つながりを活用した広域連携による商品造成

<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
広域連携によるコース造成等	磨く	○	◎			
	つなぐ	○	◎	○		
	伝える	○	◎	○		

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

第1章
計画策定の趣旨

第2章
観光に関する
社会的変化

第3章
小牧市の観光の現状

第4章
小牧市の目指す観光

第5章
計画の推進に向けて

第1章
観光重点プランの
意義と必要性

第2章
地域資源の
分析

第3章
重点的に取り組む
キーワード

第4章
計画期間内における
観光振興のテーマ

第5章
観光推進施策と
展開方法

参考資料

キーワード2：「名古屋コーチン」

a 市内取扱店舗の拡大等 磨く・つなぐ・伝える

例)・市内での生産量の拡大促進

- ・取扱(食べられる・購入できる)店舗の拡大
- ・発祥の地としてのポテンシャルを活用した情報発信の強化



＜観光推進施策に対する各主体の役割＞

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
取扱店舗の拡大等	磨く	○	○	◎	◎	
	つなぐ	○	○	◎	○	
	伝える	○	◎	○	◎	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

b イベント・プロモーションの展開等 スタートアップ事業 磨く・つなぐ・伝える

例)・地域資源を連携させた企画・イベントの実施

- ・発祥の地としての情報発信を主体としたイベントの展開

＜観光推進施策に対する各主体の役割＞

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
イベント・プロモーションの展開等	磨く	○	◎	○	○	
	つなぐ	○	◎	○	○	
	伝える	○	◎	○	◎	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

第Ⅱ部 小牧市観光重点プラン

c 名古屋コーチンを使ったグルメの開発等 育てる・磨く・つなぐ・伝える

例)・特別な地鶏のイメージを生かした商品開発

<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
名古屋コーチンを使ったグルメの開発等	育てる	○		◎	◎	
	磨く	○		○	◎	
	つなぐ	○	○	◎	○	
	伝える	○	◎	○	○	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

d ひきずり鍋の伝承と普及等 育てる・磨く・つなぐ・伝える

例)・伝統的な郷土料理であるひきずり鍋が食べられる店舗の拡大

- ・ひきずり鍋の魅力を広く発信するための施策展開
- ・地元の食文化の伝承と普及



<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
ひきずり鍋の伝承と普及等	育てる	○		◎	○	○
	磨く	○		◎	○	◎
	つなぐ	○	○	◎	○	○
	伝える	○	◎	○	○	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

キーワード3：「航空宇宙産業」

a 観光ルート・観光プランの造成・誘致等 **つなぐ**・**伝える**

例) ・観光ルートの設定・旅行商品の造成
 ・教育旅行やビジネス客を主体としたツアーの企画・販売



<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
観光ルート・観光プランの造成・誘致等	つなぐ	○	◎		◎	
	伝える	○	◎		○	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

b 航空宇宙産業のまちとしてのイメージ・プロモーション展開等

育てる・**磨く**・**つなぐ**・**伝える**

例) ・市内の航空宇宙産業関連企業と連携したプロモーション
 (航空宇宙産業としてのイメージ戦略)

<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
航空宇宙産業のまちとしてのイメージ・プロモーション展開等	育てる	◎	○	○	◎	
	磨く	◎	○	◎	○	
	つなぐ	○	◎	○	○	
	伝える	○	◎	○	○	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

第Ⅱ部 小牧市観光重点プラン

総合事業

3つのキーワードについては、重複もしくは関連する観光推進施策も考えられる。また、重点施策となるキーワードではないが本市の地域資源で、キーワードと連携し展開する観光推進施策も想定されるため、ここでは総合事業としての観光推進施策を示す。

a 観光商品化等

スタートアップ
事業

つなぐ・伝える

例) ・地域資源をつないだ旅行商品の造成
・モニターツアーの実施

<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
観光商品化等	つなぐ	○	◎		◎	
	伝える	○	◎		◎	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

b 推奨品・特産品の開発および販売促進等

つなぐ・伝える

例) ・市内の果物を使ったスイーツの開発
・販路拡大を視野に入れた商品開発

<観光推進施策に対する各主体の役割>

観光推進施策	基本施策	関係主体				
		行政	観光協会	商工会議所	民間事業者	市民・市民活動団体
推奨品・特産品の開発および販売促進等	つなぐ	○		◎	○	
	伝える	○	◎	○	○	

◎：取り組みの主体者 ○：取り組みを支援したり、啓発したり、補助する者

(2) キーワードごとの観光推進施策の展開方法

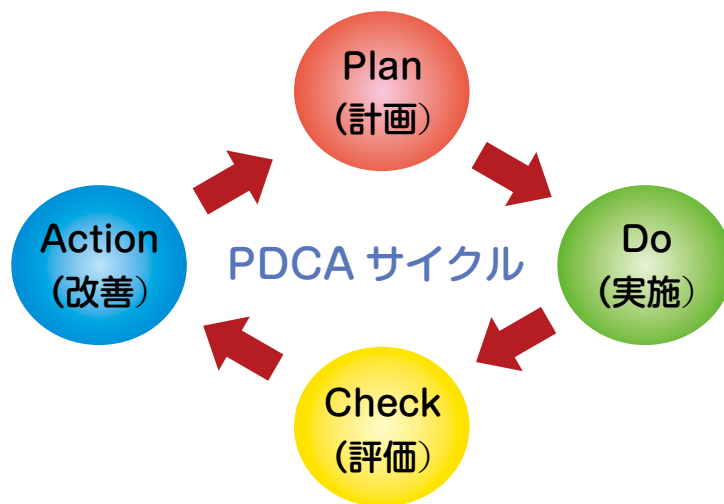
(1) では、それぞれのキーワードに関する観光推進施策を示したが、観光推進施策の具体的な展開方法については、それぞれに詳細設計が必要であるため、今後の進め方としては、関係者らによる協議の場を設けるなどしながら具体的な展開方法を検討していく。

また、観光推進施策によってはすぐにでも実現可能なレベルのものから、複数年かけて実施する必要があるものなど、内容も多岐にわたるため、優先順位をつけて検討・実施していくなど、柔軟に対応していく必要がある。

(3) プランの検証と評価

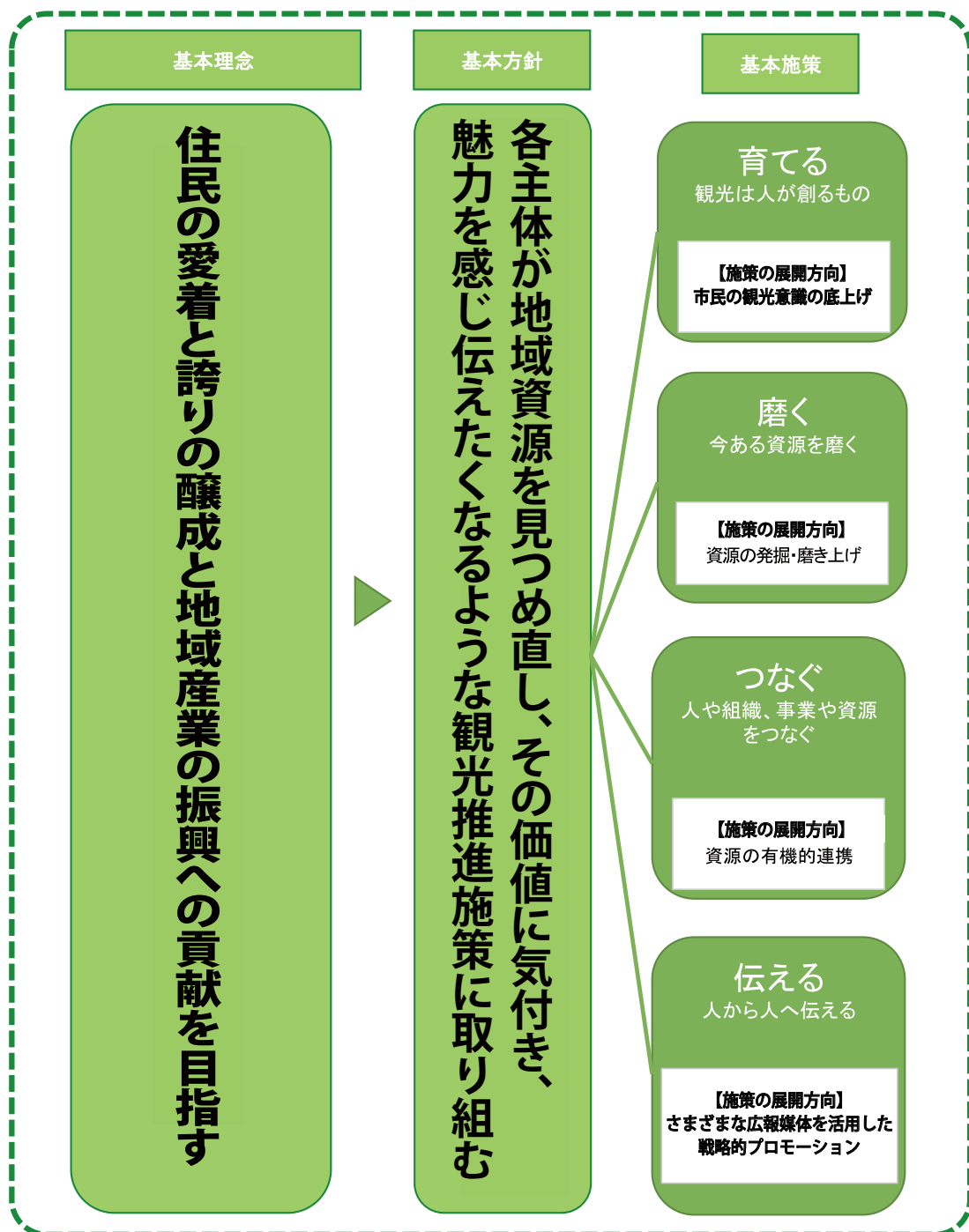
本プランは、行政が主体となり具体的な目標値を設定しながら進捗管理を行い、施策については随時追加・修正等を加え、場合によっては事業方法や施策を転換するなど積極的な見直しを行いながら、着実に観光振興を進めていかなければならない。

プランの見直しのプロセスにおいては、年度ごとにいわゆる PDCA サイクル、すなわち Plan（計画）—Do（実施）—Check（評価）—Action（改善）を繰り返すことにより、事業の評価と改善を行い、着実な事業展開を担保する。



小牧市観光振興基本計画・小牧市観光

小牧市観光振興基本計画の体系



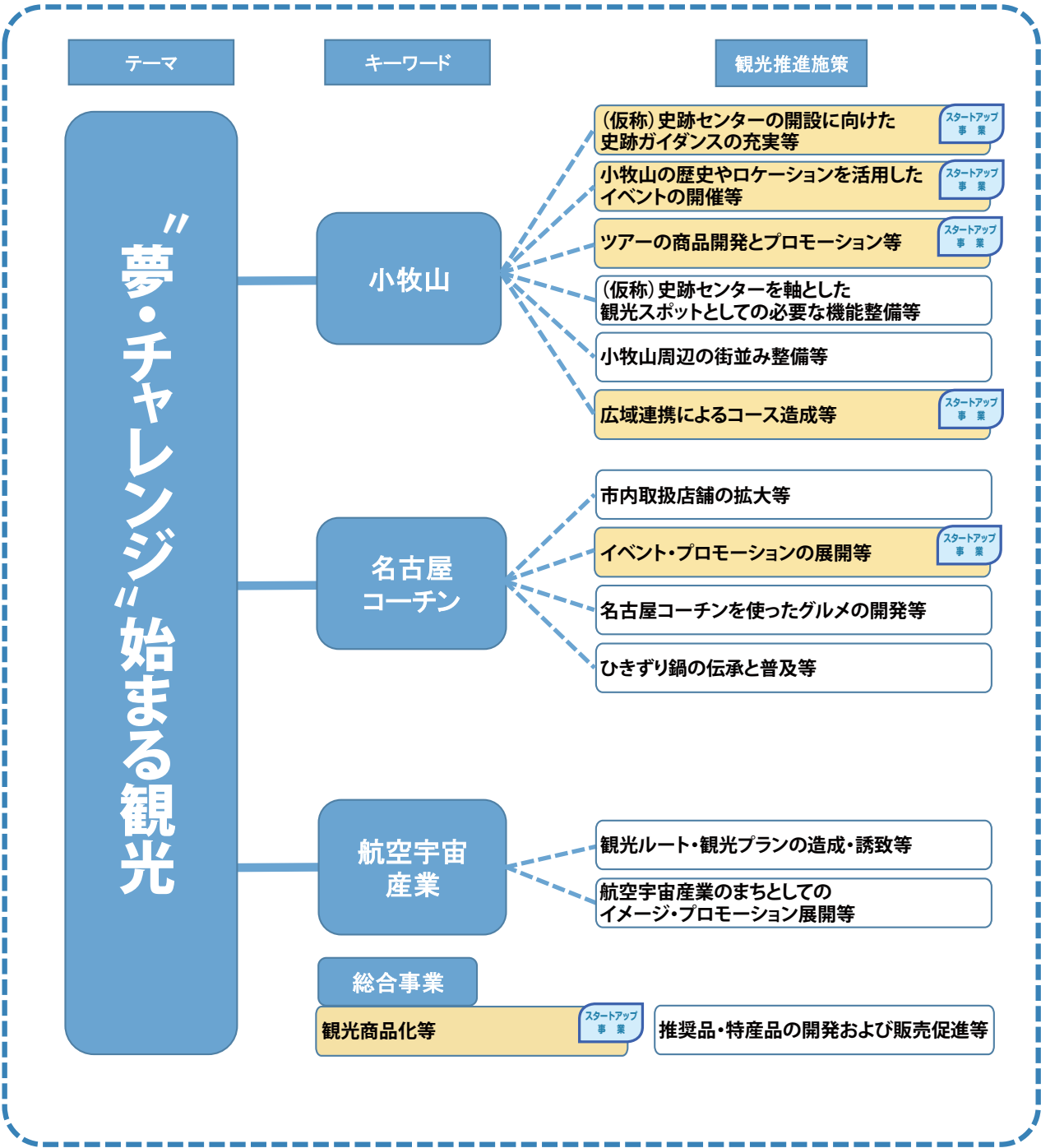
計画期間内に重点的に進める施策

評価指標と数値目標

指標名	基準値 (H26年)	
主要なイベント及び地域資源への来訪者の数 (交流人口)	2,213,229人	➡

重点プランの概略（平成28～32年度）

小牧市観光重点プランの体系



目標値（H32年）

3,000,000人